

トレーナー・トレーニング

-グループ・ファシリテーターとしての態度と技能を学ぶ-

担当者	中村和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授） 楠本和彦（南山大学人文学部心理人間学科教授）
概要	<p>Tグループを経験された方が、グループファシリテーションを学ぶためのトレーニングです。</p> <p>学校や企業、看護や介護、ボランティア活動や地域活動など、社会生活は様々な人間関係によって成り立っています。しかし、相互の率直で正直なコミュニケーションの妨げになる懸念や不信感の存在によって、本来の力を発揮することができないこともしばしば起こっています。これらの不信感の風土を信頼の風土に変革することができたら、私たちの世界はもっと豊かになるでしょう。</p> <p>このトレーニングでは、グループ内の人間関係に働きかけて、ひとりひとりが尊重され、プロセスから学び、相互の信頼関係を形成していくためのファシリテーションのあり方を学びます。</p> <p>対人関係やグループプロセスへの働きかけを体験する場としてTグループを想定した状況を作り、参加者が交代でトレーナー役を務めたり、観察者としてグループ状況をフィードバックしたりしながら、ファシリテーターとしての観察と介入のスキルを磨きます。同時に人間理解やトレーニングの倫理についてもディスカッションします。</p> <p>プログラムの中では随時、ベテラントレーナーを交えてのディスカッションやケーススタディーなども交えて、相互援助的な学習風土の中で学ぶことができます。</p> <p>期待される成果は</p> <ul style="list-style-type: none">・組織や学級運営に役立つグループプロセスを観察・診断するスキルを習得できます。・学習者を尊重しながら体験過程を促進する、効果的な言葉かけや介入を学ぶことができます。・カウンセリングなどの基本となる「受容」「共感的理解」「自己一致」や「人間尊重の姿勢」などを、自分自身の生きた体験を通して点検できます。・自分自身のかかわり方や介入の問題点や可能性を探ることができます。
日程	2009年 8月8日（土）～13日（木） 5泊6日
定員	18名
参加資格	「Tグループ」参加経験のある方
会場	（財）KEEP協会・清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里3545 Tel:0551(48)2111
受講料	受講料 72,000円 滞在費 53,250円（ツイン利用）※現地徴収
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 山口真人 記</p> <p>今年度のトレーナー・トレーニングは、8月8日から8月13日までの5泊6日の日程で、山梨県清里のKEEP協会清泉寮を会場にして、受講者14名、トレーニングスタッフ2名、事務局1名の体制で行いました。</p> <p>トレーニングの構造は2グループ編成で、受講者が交互にトレーナーの役割、オブザーバーの役割、メンバーの役割を取りながら、Tグループを想定したグループセッションとトレーナー行動のフィードバックセッションを重ねて行きました。</p> <p>今回の特色の一つは、毎夜行われるスタッフミーティング(スタミ)を、受講者に公開するオープンスタミ方式で行なったことです。</p> <p>Tグループの産みの親であるクルト・レビンが、その着想を得たのがスタッフミーティングへの参加者の参加がきっかけであったという歴史がありますので、トレーナー・トレーニングにはふさわしい試みであるともいえます。</p> <p>他の一つは、2つのグループが1つのグループになってトレーニングを行う“コミュニティグループ”という試みが行われたことです。</p> <p>これはオープンスタミの中で、参加者のニーズに応える形で生まれたプログラムでした。</p> <p>アンケートを見ると、オープンスタミに対しては『学びの場を主体的に作り上げることを体験させていただいて本当に良かったです。グループを信頼するTそのものと思いました。』『Tを支えるものそのものを提示していただいていたと思います。』などのコメントがありました。コミュニティグループに対しては『グループでのセッションとはまた違うデータの宝庫で、多様性を実現できたことによって、その後の第2ラウンドに違う視点で臨むことにつながった』などのコメントを頂きました。</p> <p>施設面では、清泉寮の新しい建物が完成し、天然温泉の露天風呂を楽しんだり、新しいダイニングホールではシェフの心意気の伝わる食事などを楽しむこともできました。</p> <p>アンケートによると、プログラム全体を通しての参加者の自分自身への評価は、7点満点で、満足度は6.54、有意意味度6.85と、充実した研修になったと思います。</p>